

**KAWAI****2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）**

2021年5月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社河合楽器製作所
 コード番号 7952 URL <https://www.kawai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(氏名) 河合 弘隆
 (氏名) 河合 健太郎 TEL 053-457-1227
 配当支払開始予定日 2021年6月28日

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	67,520	△5.3	3,492	18.0	4,002	28.3	2,579	67.0
2020年3月期	71,302	△1.5	2,960	△19.3	3,118	△20.4	1,545	△23.1

(注) 包括利益 2021年3月期 2,689百万円 (147.6%) 2020年3月期 1,086百万円 (△47.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	300.16	—	9.7	7.1	5.2
2020年3月期	180.17	—	6.1	5.9	4.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 3百万円 2020年3月期 △14百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	60,699	27,934	45.8	3,236.55
2020年3月期	51,758	25,717	49.5	2,980.47

(参考) 自己資本 2021年3月期 27,818百万円 2020年3月期 25,617百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	4,942	△899	4,803	18,417
2020年3月期	1,572	△1,651	△1,393	9,562

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00	472	30.5	1.9
2021年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00	472	18.3	1.8
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		18.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	37,800	34.6	1,650	—	1,750	502.7	1,100	—	127.98
通期	77,000	14.0	4,000	14.5	4,100	2.4	2,600	0.8	302.50

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	9,011,560株	2020年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2021年3月期	416,557株	2020年3月期	416,474株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	8,595,039株	2020年3月期	8,575,898株

※当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship）」を導入していましたが、2019年11月29日をもって終了しております。なお、野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりました。（2020年3月期 19,192株）

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	48,487	△2.0	855	—	1,504	78.3	989	355.3
2020年3月期	49,481	△4.0	9	△98.8	843	△50.8	217	△70.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	115.07	—
2020年3月期	25.33	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	44,561		14,395		32.3		1,674.88	
2020年3月期	36,994		13,651		36.9		1,588.27	

(参考) 自己資本 2021年3月期 14,395百万円 2020年3月期 13,651百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染の拡大を受け、政府による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるなど、社会活動の抑制を余儀なくされました。依然として感染症の動向に左右される状況が続いており、更なる感染の拡大による景気回復の遅れが懸念されます。個人消費は、政府の各種政策の効果による一時的な押し上げが見られたものの、ワクチン接種が遅れるなど消費動向の先行きに不透明感が続いております。また世界経済は、新型コロナウイルス感染の拡大により2020年前半に大きく落ち込んだ後、各国の積極的な財政政策により徐々に持ち直しに転じましたが、ワクチン接種への課題や変異株の拡大など不安定な状況が続いており、経済回復への足取りは鈍い状態にあります。

このような経営環境のもと、当社グループは第6次中期経営計画「Resonate2021」（2020年3月期から2022年3月期）を推進しております。「100年ブランド」の構築に向け、「販売力」「製品・サービス力」「生産力」「組織力」をそれぞれ深掘りしてKAWA Iのブランド力を高め、柱である楽器教育事業の収益力向上と事業拡大を目指し、当社グループ全体の更なる基盤強化に取り組んでおります。

コロナ禍における消費者の購買行動に変化が見られる中、商品政策としては、当社のマザー工場であり「世界のピアノづくり」の拠点でもある竜洋工場の竣工40周年を記念したグランドピアノ『GL-10SE』、デジタルピアノ『CA59』『CA49』、ポータブルデジタルピアノ『ES920』を開発し、発売いたしました。また、音楽文化振興や社会貢献への一環として、オンラインコンサートの実施や若手ピアニストへの支援、震災被災地に向けたチャリティーコンサートの開催にも取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は 67,520百万円（前期比 3,782百万円減）、営業利益は費用削減などにより 3,492百万円（前期比 532百万円増益）、経常利益は 4,002百万円（前期比 883百万円増益）、親会社株主に帰属する当期純利益は 2,579百万円（前期比 1,034百万円増益）となりました。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

(楽器教育事業)

楽器教育事業は、楽器販売において、ピアノは各国政府からの外出規制や楽器店の休業命令による販売減少が大きく影響しましたが、規制緩和や生活様式の変化の中、第2四半期以降回復基調に転じました。デジタルピアノやハイブリッドピアノについては、世界各地において巣ごもり需要を背景に好調な販売を維持しました。中でもグランドピアノの弾き心地を再現した最上位モデルである『CAシリーズ』及びアコースティックピアノアクションを搭載したハイブリッドピアノモデルである『NVシリーズ』の販売が好調でした。一方で、国内の音楽教室及び体育教室は回復基調にあるものの、第1四半期での休講措置が大きく影響しました。これらの結果、売上高は 55,147百万円（前期比 1,902百万円減）となり、営業利益は高付加価値商品の販売増加や費用の削減などにより 2,241百万円（前期比 426百万円増益）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、第3四半期以降回復が見られたものの、第2四半期までにおける新型コロナウイルス感染症による供給先の生産調整に起因して、半導体関連部品や自動車関連部品の受注が減少したことなどにより、売上高は 9,112百万円（前期比 533百万円減）となり、営業利益は費用削減などにより 1,291百万円（前期比 166百万円増益）となりました。

(その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器販売の受託減少などにより、売上高は 3,259百万円（前期比 1,346百万円減）となり、営業利益は 49百万円（前期比 93百万円減益）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の流動資産は、現金及び預金の増加などにより 38,215百万円（前期末比 9,031百万円増）となりました。また固定資産は、有形固定資産の減少などにより 22,484百万円（前期末比 90百万円減）となり、資産合計は 60,699百万円（前期末比 8,941百万円増）となりました。

(負債)

当連結会計年度末の流動負債は、17,096百万円（前期末比 2,169百万円増）となりました。これは短期借入金や未払金などが増加したことによるものです。また固定負債は、長期借入金の増加などにより 15,668百万円（前期末比 4,554百万円増）となり、負債合計は 32,765百万円（前期末比 6,724百万円増）となりました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は 27,934百万円（前期末比 2,216百万円増）となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益などによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、換算差額等を含め 8,855百万円増加したことなどにより 18,417百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益 3,166百万円、減価償却費 1,558百万円、法人税等の支払額 800百万円などにより 4,942百万円の資金増加（前期は 1,572百万円の資金増加）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出 795百万円、無形固定資産の取得による支出 65百万円などにより 899百万円の資金減少（前期は 1,651百万円の資金減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入 5,500百万円などにより 4,803百万円の資金増加（前期は 1,393百万円の資金減少）となりました。

キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	43.9%	46.8%	49.5%	45.8%
時価ベースの自己資本比率	57.1%	46.2%	40.2%	49.6%
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率	2.6年	1.9年	3.8年	2.3年
インタレスト・ カバレッジ・レシオ	63.3	80.2	37.1	64.4

- ・自己資本比率 : 自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済の見通しや世界経済の先行き、当社グループを取り巻く経営環境については、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、非常に不透明な状況となっております。

こうした中、当社グループは第6次中期経営計画「Resonate 2021」に基づき、長期ビジョンとして『100年ブランド』の確立を掲げ、100年、そしてさらにその先の継続的な発展に向け、祖業であるピアノづくりで世界一を目指し、各事業の強みをさらに深化させ、お客様満足度の追求・向上と音楽文化の発展を通して、企業価値・ブランド力の向上と持続的な成長を図ってまいります。

以上に基づき、翌連結会計年度（2022年度3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高 77,000百万円（前期比 14.0%増）、営業利益 4,000百万円（前期比 14.5%増）、経常利益 4,100百万円（前期比 2.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 2,600百万円（前期比 0.8%増）を予想しております。

なお、業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1US\$=108円、1ユーロ=128円、1元=16.5円を想定しております。

また、上記業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、今後の経営環境ならびに事業展開を考慮し、経営基盤の安定化に向けた内部留保を確保しつつ、株主各位への安定的な配当及び資本効率の向上を目的とした機動的な株主還元を行うことを基本方針とし、総還元性向の向上に努めております。

剰余金の配当につきましては、中間配当制度を設けていますが、経営基盤の安定化を考慮し、現在は期末配当のみの年1回を基本方針としております。剰余金の配当の決定機関については、株主総会の決議とともに取締役会の決議によっても行う旨を定款で定めておりますが、期末配当金については定時株主総会の決議により決定することを原則としております。

上記の方針を踏まえて、当期につきましては1株当たりの期末配当金は55円00銭を予定しております。

次期の配当金につきましては、1株当たりの期末配当金55円00銭を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,388	19,474
受取手形及び売掛金	6,471	7,676
商品及び製品	6,207	5,300
仕掛品	1,477	1,363
原材料及び貯蔵品	2,779	2,729
その他	1,992	1,825
貸倒引当金	△132	△155
流動資産合計	29,183	38,215
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,401	17,337
減価償却累計額	△12,762	△13,123
建物及び構築物(純額)	4,638	4,214
機械装置及び運搬具	13,030	13,110
減価償却累計額	△11,007	△11,330
機械装置及び運搬具(純額)	2,022	1,779
土地	6,340	6,335
建設仮勘定	77	85
その他	6,480	6,713
減価償却累計額	△5,509	△5,739
その他(純額)	971	974
有形固定資産合計	14,050	13,388
無形固定資産		
投資その他の資産	819	680
投資有価証券	5,619	5,980
繰延税金資産	670	1,030
その他	1,559	1,550
貸倒引当金	△143	△143
投資その他の資産合計	7,705	8,416
固定資産合計	22,575	22,484
資産合計	51,758	60,699

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,365	4,544
短期借入金	5,294	6,060
未払金	1,437	1,956
未払法人税等	386	647
賞与引当金	905	902
製品保証引当金	111	123
その他	2,425	2,863
流動負債合計	14,927	17,096
固定負債		
長期借入金	700	5,384
繰延税金負債	0	1
環境対策引当金	30	8
退職給付に係る負債	9,267	9,172
資産除去債務	602	597
その他	513	504
固定負債合計	11,113	15,668
負債合計	26,041	32,765
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	18,262	20,369
自己株式	△963	△963
株主資本合計	25,679	27,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554	811
為替換算調整勘定	△277	△517
退職給付に係る調整累計額	△339	△262
その他の包括利益累計額合計	△62	31
非支配株主持分	100	116
純資産合計	25,717	27,934
負債純資産合計	51,758	60,699

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	71,302	67,520
売上原価	52,766	49,416
売上総利益	18,535	18,103
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,238	2,318
貸倒引当金繰入額	5	32
給料手当及び賞与	5,472	5,325
賞与引当金繰入額	429	426
退職給付費用	439	432
その他	6,990	6,074
販売費及び一般管理費合計	15,575	14,610
営業利益	2,960	3,492
営業外収益		
受取利息	66	82
受取配当金	51	62
固定資産賃貸料	37	37
持分法による投資利益	—	3
為替差益	85	414
その他	63	72
営業外収益合計	304	672
営業外費用		
支払利息	45	78
手形売却損	15	19
寄付金	43	37
持分法による投資損失	14	—
その他	27	27
営業外費用合計	146	163
経常利益	3,118	4,002
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取補償金	29	7
特別利益合計	29	7
特別損失		
固定資産除却損	28	15
固定資産売却損	0	0
感染症による損失	142	828
特別損失合計	171	843
税金等調整前当期純利益	2,976	3,166
法人税、住民税及び事業税	924	1,031
法人税等調整額	493	△459
法人税等合計	1,418	572
当期純利益	1,558	2,594
非支配株主に帰属する当期純利益	13	14
親会社株主に帰属する当期純利益	1,545	2,579

(連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,558	2,594
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△318	257
為替換算調整勘定	△176	△243
退職給付に係る調整額	24	76
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	5
その他の包括利益合計	△472	95
包括利益	1,086	2,689
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,075	2,673
非支配株主に係る包括利益	10	16

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,122	1,257	17,189	△1,061	24,508
当期変動額					
剰余金の配当			△472		△472
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,545		1,545
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				98	98
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,072	98	1,170
当期末残高	7,122	1,257	18,262	△963	25,679

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	873	△101	△364	407	89	25,005
当期変動額						
剰余金の配当						△472
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,545
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						98
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△318	△175	25	△469	10	△458
当期変動額合計	△318	△175	25	△469	10	712
当期末残高	554	△277	△339	△62	100	25,717

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,122	1,257	18,262	△963	25,679
当期変動額					
剰余金の配当			△472		△472
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,579		2,579
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,107	△0	2,106
当期末残高	7,122	1,257	20,369	△963	27,786

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	554	△277	△339	△62	100	25,717
当期変動額						
剰余金の配当						△472
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,579
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	257	△239	76	93	16	110
当期変動額合計	257	△239	76	93	16	2,216
当期末残高	811	△517	△262	31	116	27,934

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,976	3,166
減価償却費	1,587	1,558
長期前払費用償却額	12	14
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5	25
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△189	0
受取利息及び受取配当金	△117	△144
支払利息	45	78
持分法による投資損益（△は益）	14	△3
有形固定資産売却損益（△は益）	0	△0
固定資産除却損	28	15
売上債権の増減額（△は増加）	548	△864
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,272	932
仕入債務の増減額（△は減少）	168	184
未払退職金の増減額（△は減少）	△128	7
その他	△849	771
小計	2,830	5,743
法人税等の支払額	△1,257	△800
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,572	4,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△104	△217
有形固定資産の取得による支出	△1,105	△795
有形固定資産の売却による収入	1	17
無形固定資産の取得による支出	△207	△65
有形固定資産の除却による支出	△14	△7
投資有価証券の取得による支出	△300	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	1
利息及び配当金の受取額	89	171
長期前払費用の取得による支出	△17	△7
その他	4	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,651	△899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△438	250
長期借入れによる収入	—	5,500
長期借入金の返済による支出	△518	△300
配当金の支払額	△471	△471
リース債務の返済による支出	△53	△88
自己株式の売却による収入	134	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
利息の支払額	△42	△76
その他	△3	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,393	4,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	△76	8
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,548	8,855
現金及び現金同等物の期首残高	11,055	9,562
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	55	—
現金及び現金同等物の期末残高	9,562	18,417

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、常務会等で経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは『基幹事業（楽器・音楽教室）』の成長を中心として、100年ブランドの確立を目指すため、国内では地域ユニット体制による収益力の強化を深化させ、また中国でも中長期的な成長に向け、楽器販売、音楽教室、調律の三位一体体制での事業推進により企業価値の向上を図ってまいります。こうした経営環境を背景に、マネジメントアプローチの考え方にに基づき、「楽器教育事業」、「素材加工事業」を報告セグメントとしております。

「楽器教育事業」は、楽器の製造販売及び楽器の調律・修理及び音楽教室・体育教室の運営、教材・楽譜・音楽教育用ソフトの製造、販売をしております。「素材加工事業」は、電子電気部品用金属材料加工、自動車部品用材料加工、鋳鉄物の製造及び販売、防音室・音響部材の製造及び販売をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のための会計処理と同一の方法によっております。報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	57,049	9,646	66,696	4,605	71,302	—	71,302
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	527	528	408	937	△937	—
計	57,051	10,173	67,225	5,014	72,239	△937	71,302
セグメント利益	1,814	1,124	2,939	142	3,081	△121	2,960
セグメント資産	34,211	7,609	41,821	2,562	44,384	7,374	51,758
その他の項目							
減価償却費	1,018	433	1,451	3	1,455	132	1,587
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,095	313	1,408	26	1,435	66	1,501

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	55,147	9,112	64,260	3,259	67,520	—	67,520
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	562	563	377	941	△941	—
計	55,149	9,675	64,824	3,636	68,461	△941	67,520
セグメント利益	2,241	1,291	3,532	49	3,581	△88	3,492
セグメント資産	35,846	8,310	44,157	2,535	46,692	14,007	60,699
その他の項目							
減価償却費	1,063	395	1,458	7	1,466	92	1,558
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	650	172	823	2	825	8	834

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	10	3
全社費用※	△132	△92
合計	△121	△88

※ 全社費用は、主に特定セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産

(単位:百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△2,121	△2,155
全社資産※	9,495	16,163
合計	7,374	14,007

※ 全社資産は、主に提出会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,980.47円	3,236.55円
1株当たり当期純利益	180.17円	300.16円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が保有する当社株式を、「1株当たり当期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。なお、2019年11月29日をもって当該信託は終了しております。（前連結会計年度 19千株、当連結会計年度 一千株）
 3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,545	2,579
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	1,545	2,579
普通株式の期中平均株式数（千株）	8,575	8,595

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額（百万円）	25,717	27,934
純資産の部の合計額から控除する金額 （百万円）	100	116
（うち非支配株主持分（百万円））	(100)	(116)
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	25,617	27,818
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数（千株）	8,595	8,595

（重要な後発事象）

該当事項はありません。